



2021年10月28日

各 位

会社名 フォスター電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 C00 成川 敦
 (コード6794、東証1部)
 問合せ先 IR・法務部長 山本有三
 (TEL: 042-546-2305)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月17日の「2021年3月期決算短信」にて公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

○通期業績予想の修正

1. 2022年3月期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,000	1,000	1,000	300	13.48
今回修正予想 (B)	90,000	△3,500	△3,500	△3,500	△157.28
増減額 (B) - (A)	0	△4,500	△4,500	△3,800	
増減率 (%)	0.0	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	85,220	0.7	219	△3,363	△148.47

2. 修正の理由

当社グループの上期業績は、自動車販売のコロナ禍からの回復に伴い売上高は前年同期比で増加しましたが、利益面では、世界的な半導体不足やその他部品不足により自動車生産の回復が期初見込みに比べ鈍いこと、昨年度から続く輸送コストの上昇、原油高等に伴う原材料費・部材費の高騰、加えて東南アジア（特にベトナム地域）での新型コロナウイルス感染拡大に伴う工場稼働率の一時的な低下等により非常に厳しい結果となりました。

通期見通しにつきまして、売上高は半導体不足による自動車生産台数の減少はあるものの、徐々に回復すると見えています。利益面では、上期同様厳しい状況が続くと見込んでいることに加え、7-9月期のベトナム地域での工場稼働率低下の影響で空輸も含めた輸送コスト増が見込ま

れるとともに、中国における電力供給や大手不動産会社の経営問題、地政学リスク等引き続き予断を許さない状況が続くと思われま

す。こうしたことを踏まえ、上記のとおり通期業績見通しを修正しました。

〔注〕業績予想に関する留意事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報等に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績結果は、状況の変化など様々な要因によって上記予想・見込みとは異なる場合がありますので、ご承知おきください。

以 上